

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	言語聴覚療法技術論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(1) 時間(単位)	
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 火曜3限	教室名	第4校舎401		
担 当 教 員	工藤悠世、小川れい、丸山 めぐみ	実務経験と その関連資格						
《授業科目における学習内容》								
対人援助職に必要なカウンセリングの技術(聴く・伝える・共感する)について、今の自分自身ができていること・不足していることを把握した上で、必要な知識や技術について学ぶ。								
《成績評価の方法と基準》								
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
①工藤: 教科書『対人援助の現場で使える聴く・伝える・共感する技術便利帖』大谷佳子 翔泳社 2017 参考図書:『人間関係が驚くほどうまくいく一言いたいことがきちんと伝わるレッスン』平木典子 大和出版 2008								
②小川、丸山:配布資料								
《授業外における学習方法》								
【小川】学習した内容を復習し、学生同士で意見交換する。 【工藤】毎回、アサーション(効果的な自己主張)に関するプリントを配布しますので、感想を書いて翌週に提出してください。								
《履修に当たっての留意点》								
言語聴覚士にとって「コミュニケーションとは何か」を考え、知ることは非常に大切なことです。 クラスメイトや失語症の方々との実際のコミュニケーションを通して、一緒に学んでいきましょう。								
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々なコミュニケーション手段について理解し説明できる【小川】	資料配布 パワーポイント				
		各コマにおける授業予定	グループワークで「コミュニケーションとは何か」を具体的に考える。					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症(理解面)について理解し説明できる【小川】	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す			
		各コマにおける授業予定	失語症の概要を知る。					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症(表出面)について理解し説明できる【小川】	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す			
		各コマにおける授業予定	失語症の概要を知る。					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症の方とのコミュニケーション方法を理解し説明できる【小川】	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す			
		各コマにおける授業予定	DVDを見て、失語症の方への良い対応、良くない対応を考える。					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症の方との具体的なコミュニケーションの方法を理解し説明できる【小川】	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す			
		各コマにおける授業予定	失語症から起こる様々な問題、関わる際の心構えについて考える。様々な手段や道具の活用、確認の方法を考える。					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	失語症の方との具体的なコミュニケーションの方法を挙げることができる【小川】	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す
		各コマにおける授業予定	対話会に向け、失語症者の方とどのようにコミュニケーションを図っていくか、グループで検討する。		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	対話会の準備を通し対人職におけるスキル、マナーを身につけ実践できる【小川】	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す
		各コマにおける授業予定	対話会の準備をする。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	失語症の方とコミュニケーションがとれるようになる【小川】	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す
		各コマにおける授業予定	対話会：失語症の方へ検討したコミュニケーション方法を実践する。		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	失語症の方とコミュニケーションがとれるようになる【小川】	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す
		各コマにおける授業予定	対話会：失語症の方へ検討したコミュニケーション方法を実践する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	対話会を終えて、改めてコミュニケーションに必要なことを挙げる【小川】	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す
		各コマにおける授業予定	対話会を個人、グループで振り返る。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	対人援助職としてのコミュニケーション力を高める【工藤】	教科書 配布資料	授業終了時に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	対人援助職の専門家としてのコミュニケーション援助職のマインド、テクニック、スキル		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	聞き上手になる技術を獲得する【工藤】	教科書 配布資料	授業終了時に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	話しやすい雰囲気づくり、挨拶、リラックス、自由会話 聴きたい気持ちを表現する、話す意欲を高める、沈黙の効果		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	伝え上手になる技術を獲得する【工藤】	教科書 配布資料	授業終了時に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	第一印象、聴く準備をしてもらい、理解しやすく伝える 相手本位で考える、論理的に伝える、聴いてもらったことに感謝する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	第11～14回までの内容を確実に理解、習得する【工藤】	教科書 配布資料	授業終了時に示す課題を実施しておく
		各コマにおける授業予定	小テストを実施し、これまでの内容を確認する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	見学実習の概要について理解し到達目標をもてる【丸山】	配布資料	よく確認の上、必要な書類や資料を作成する。
		各コマにおける授業予定	見学実習の概要および到達目標について、見学実習に向けた準備		